

2026年3月18日

報道機関 各位

## 長崎大学経済学部 公開講座 東日本大震災から 15 年 被災地の歩みを知り私たちの未来を考える

長崎大学経済学部では、下記のとおり公開講座を開催いたします。

本講座では、東日本大震災から 15 年を迎える岩手県・宮城県・福島県沿岸部の復興状況について解説するとともに、宮城県気仙沼市唐桑半島の民宿「唐桑御殿つなかん」を舞台にした映画『ただいま、つなかん』を上映します。

被災地全体を俯瞰するとともに、被災地に暮らす個人の視点から復興の歩みに触れることで、被災地に想いを寄せるとともに、被災地から学ぶ機会にもなりますので、本講座の周知にご協力くださいますようお願いいたします。

取材をご希望の場合は、3月23日（月）17:00 までに下記お問い合わせ先へご連絡ください。

日 時 : 2026年3月23日（月）18:30~21:30（18:00 開場）

場 所 : 長崎大学経済学部本館 22 講義室（長崎市片淵 4-2-1）

対 象 : 講座内容に関心のある方はどなたでも受講可

内 容 : ① 講 義（18:30~19:25）

経済学部・山口純哉 准教授

「東日本大震災から 15 年を経た被災地の現状と課題」

② 上 映（19:35~21:30）

映画「ただいま、つなかん」

講習料 : 1,000 円・高校生以下無料（申込み後通知する口座に事前振込）

申込先 : 当日 12:00 締切

下記二次元バーコード・連絡先

<https://forms.gle/SzcppET4oQX6WR1PA>



【本リリースに関するお問い合わせ先】

（申込について）

長崎大学経済学事務課総務係 [ecso@ml.nagasaki-u.ac.jp](mailto:ecso@ml.nagasaki-u.ac.jp)

（講座の内容について）

長崎大学経済学部 准教授 山口純哉 [junya-y@nagasaki-u.ac.jp](mailto:junya-y@nagasaki-u.ac.jp)

《会場案内》



本館2階22講義室

3/23(月) 18:30 - 21:30

東日本大震災から十五年、  
被災地の歩みを知り私たちの未来を考える



宮城県気仙沼市唐桑半島  
3・11からコロナ禍まで  
たくさん笑って たくさん泣いて  
こころを紡ぐ 民宿「つなかん」の物語

ただいま、  
つなかん



語り: 渡辺 謙 | 監督: 風間 研一 | 音楽: 岡本 優子  
ゼネラルプロデューサー: 斎藤 隆平 | プロデューサー: 東崎 木緒子 | 編集: 井上 秀明 ©2023 bunkakobo  
配給宣伝協力: ワッキー・プロダクション | 宣伝協力: リガード | 制作著作: 文工房 | DCP | 日本 | Fキュメンタリー  
2023年 | 115分 | 16:9 | カラー | <https://tuna-kan.com> | 文工房

※文部科学省選定(青年向き・成人向き)  
後援: 宮城県 | 気仙沼市 | 気仙沼商工会議所 | 気仙沼市観光協会 | 仙台国際空港 | IEX | 気仙沼市観光協会 | 仙台国際空港 | IEX | 気仙沼市観光協会 | 仙台国際空港 | IEX



義  
講  
映  
画

東日本大震災から15年、岩手県・宮城県・福島県沿岸部における復興の状況を俯瞰する講義、映画「ただいま、つなかん」の視聴により、被災地のこれまでの歩みを全体と個別の視点から捉え、被災地を想う機会となれば幸いです。

詳細は裏面をご覧ください。

震災によって生まれた「絆」のその先には  
誰かが誰かを思う気持ちが溢れていました♡

宮城県気仙沼市唐桑半島 鮭立。美しい入江を見下ろす高台に

民宿「唐桑御殿つなかん」があります。

100年続く牡蠣の養殖業を営む菅野和享さんと一代さん夫妻は、

東日本大震災当時、津波により浸水した自宅を補修し、学生ボランティアの拠点として開放、半年間で延べ500人を受け入れてきました。若者たちに「つなかん」と呼ばれたその場所は夫妻の「皆がいつでも帰ってこられるように」との思いから、2013年の秋に民宿に生まれ変わります。女将となった一代さんは、自慢の牡蠣やワカメを振る舞い、土地の魅力を自ら発信。そんな「つなかん」に引き寄せられるかのように、次々とこの地に移り住む元ボランティアの若者たち。彼らは海を豊かにする森を育てたり、漁師のための早朝食堂を営んだり、移住者のサポート体制を整えたりと、地域に根ざしたまちづくりに取り組み始めます。復興のその先を見つめる一代さんと若者たち。そんなある日、海難事故が発生。養殖業を廃業し、閉じこもりがちになった一代さんを思い、全国各地から「つなかん」に集まってくる元ボランティアや仲間たち。涙なみだの時を経て、民宿は再開。いつしか若き移住者たちは新しい命を授かり、地域を担う立場となっていきます。そして、コロナ禍による民宿存続の危機の中で迎えた2021年3月11日。震災から10年という節目を機に、一代さんは大きな一歩を踏み出そうとしていました。



民宿  
唐桑御殿  
つなかん  
とは

tuna → tuna-kan ← kan  
鮭立 つなかん 菅野

唐桑のシンボルでもある大きな入母屋造の唐桑御殿。遠洋マグロ漁が最盛期の頃、漁師たちは歸るように立派な家建てた。東日本大震災当時、菅野夫妻が開放した唐桑御殿の自宅を、学生ボランティアたちは親しみを込めて「つなかん」と呼んだ。民宿となった今も全国から多くの人々が訪れている。2023年、民宿開業10周年を迎える。

「つなかん」で積み重ねられる年月を10年以上にわたり記録したのは、当時テレビ報道の現場にいた現役ディレクターの風間研一（本作初監督）。語りを菅野夫妻と親交があり、現在も気仙沼に通い続ける俳優の渡辺謙が担当し、音楽を気仙沼出身・仙台在住で、みなと気仙沼大使も務めるジャズピアニスト・岡本優子が書き下ろした。また、糸井重里や伊達みきお（サンドウィッチマン）など、つなかんや気仙沼にゆかりの深い人々も登場する。全国ニュースで放送され多くの反響を呼んだ一代さんの物語に新たなシーンを加えた待望の映画化。

ただいま、つなかん



語り：渡辺 謙

監督：風間研一 | 音楽：岡本優子

ゼネラルプロデューサー：齋藤隆平 | プロデューサー：柴崎木緒子 | 編集：井上秀明  
配給宣伝協力：ウッキー・プロダクション | 宣伝協力：リガード | 製作著作：文化工房  
2023年 | 115分 | 16:9 | カラー | DCP | 日本 | ドキュメンタリー | ©2023 bunakakobo

文化工房



映画の最新情報は ▶▶ <https://tuna-kan.com> [tuna.kan2023](https://www.facebook.com/tuna.kan2023) [tuna\\_kan\\_movie](https://twitter.com/tuna_kan_movie) [tuna.kan.movie](https://www.instagram.com/tuna.kan.movie) [@tuna\\_kan\\_movie](https://www.tiktok.com/@tuna_kan_movie)

日 時：2026年3月23日（月）18:30-21:30（18:00開場）  
場 所：長崎市片淵4-2-1 長崎大学経済学部 本館 22 講義室  
対 象：講座内容に関心のある方はどなたでも受講可  
内 容：一 講義 18:30-19:25 講師 経済学部・准教授 山口純哉  
「東日本大震災から15年を経た被災地の現状と課題」  
一 上映 19:35-21:30 映画「ただいま、つなかん」  
講習料：1,000円・高校生以下無料（申込み後通知する口座に事前振込）  
申込先：当日12:00締切・右記二次元バーコード・下記連絡先  
連絡先：申し込み－長崎大学経済学事務課総務係 [ecso@ml.nagasaki-u.ac.jp](mailto:ecso@ml.nagasaki-u.ac.jp)  
講座内容－准教授・山口純哉 [junya-y@nagasaki-u.ac.jp](mailto:junya-y@nagasaki-u.ac.jp)

東日本大震災から十五年、  
被災地の歩みを知り私たちの未来を考える

